豊中市
TOYONAKA CITY

新しい"支え合い支援"のカタチ

ケアと暮らしの重なりデザイン事業

＼事業詳細はWEBで公開／

豊中市福祉部地域共生課

06-6858-2219

chiikifuk@city.toyonaka.osaka.jp

背景

孤立・孤独の時代、日常の中に「ケア」が求められている。

・人口減少によるあらゆる分野での担い手の減少

高齢者、障害者、困窮者等の社会とのつながりが低下、地域社会の持続への懸念

・地縁、血縁、社縁等のつながりの脆弱化

地域のつながりの弱体化、家族機能の低下、雇用制度の変化により、「共同体」機能の脆弱化。

人と人、人と社会のつながりの希薄化。『困っている人』が見えにくい日常。疾病、メンタル不調、孤立孤独など、可視化されにくい『痛み』『不安』が広がっている。従来の公的支援での「漏れ」「抜け」。それにより、社会からこぼれ落ちやすい人の存在。

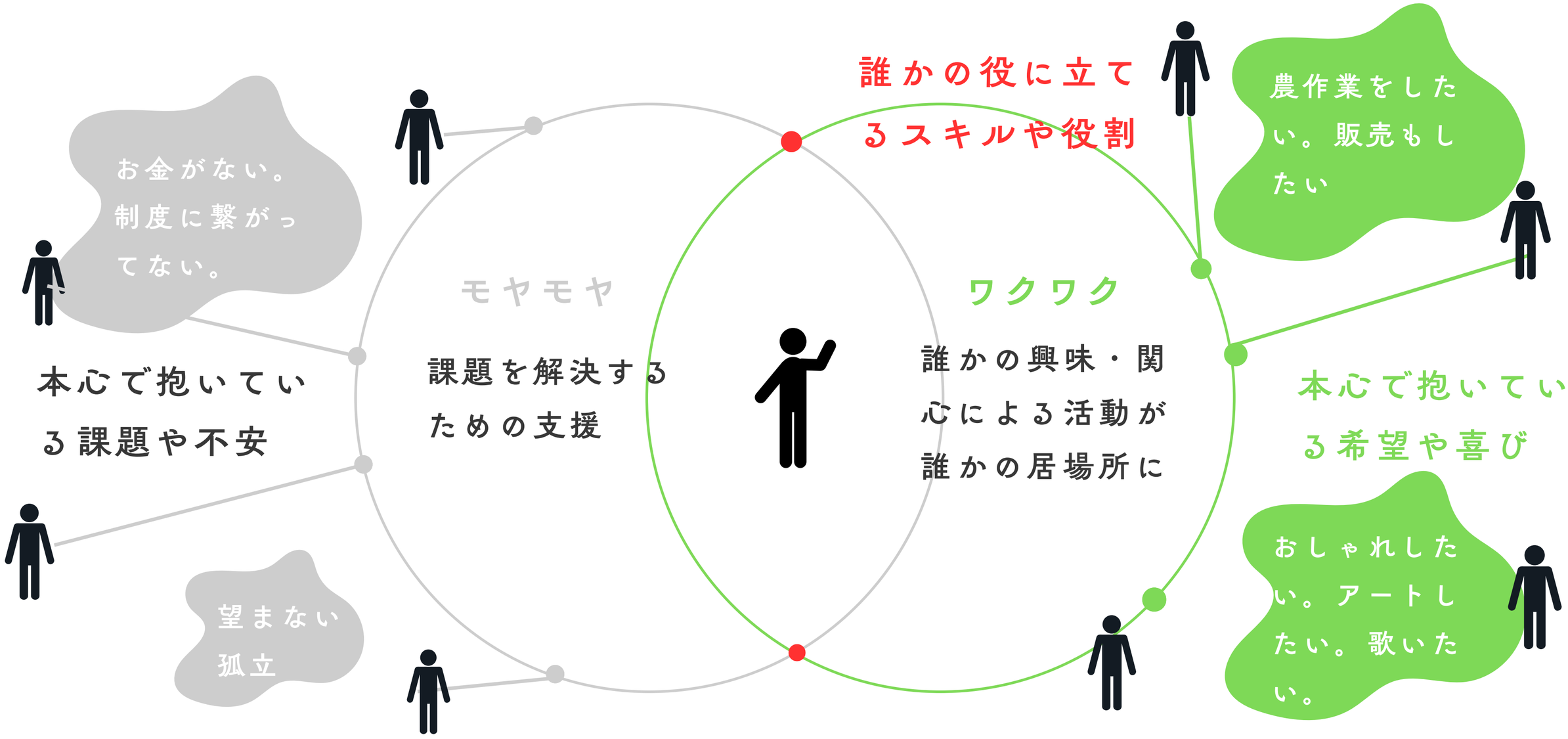
concept

ケアを、もっと日常に。
日常を、もっと豊かに。

人と人とのつながりを幾重にも重ねあわせることで、
日常の中で関係性をつくり
その人らしい暮らしを育む。

vision

さまざまな人と活動が関わり、ケアと暮らしに重なりが生まれる



action

「地域」に関わる「活動」と「プレイヤー」を増やし、地域・住民の困りごと解決する。

01

みんなに伝える

社会課題や活動する人の存在を伝え、関わる人の裾野を広げる。

02

みんなとつながる

行政や市民や医療・介護・福祉の専門職などが日ごろの関係性の中で出会い繋がる。

03

みんなとつくり・育む

暮らしのフィールドで、さまざまなプレイヤーが活動・イベントを展開する。

ケアと暮らしの重なりデザイン事業とは、民間プレイヤーの「活動したい！」を行政が応援する仕組み。

２つのコースからあなたのアイデアをカタチにします。

（１）広報支援型

提案者が行うイベントや取り組みを市が広報で応援します。

（２）公民連携型

行政が一緒に、新しい取り組みをつくります。

概要

１．応募資格　・原則として、豊中市を主な拠点として活動する市民活動団体・事業者・個人など

（営利・宗教・政治目的は不可。豊中市補助金、助成金等を活用している場合は原則不可）

２．応募資格

● 豊中市を主な拠点として活動し、開催趣旨に賛同する市民活動団体・事業者・個人など

３．募集内容（以下のいずれかに該当する企画）

（１）地域共生社会の実現に向けた課題解消につながる公益的な内容

（２）人と地域をつなぐ「社会的なつながり」育む公益的な内容

（３）多世代・多文化の交流や居場所づくりなど地域活性化を推進する内容

４．そのほか

申請期限なし。（助成金や補助金等により、資金的に支援する制度ではありません）

詳しくは市ホームページをご覧ください

事業の流れ

01



企画提案書の提出

事業を実施希望の団体が豊中市へ提案書を提出します。

02



ヒアリング

豊中市が提案団体に対して提案内容のヒアリングを行います。

03



採択・事業実施

採否の決定を行い、内容に応じて協議するとともに、提案団体において事業を実施します。

04



振り返り

提案団体と豊中市で事業の振り返りを行います。

地域づくり支援に向けた取り組みは生まれたて。
これから関わってくれる人とケアと暮らしの重なりをデザインしていきます。